

◆ 2020 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：ふかや緑の王国ボランティア

23A-38

代表者：代表 富沢隆史

URL :

1. 活動が必要とされた状況

深谷市内では、現在、ヘイケボタルが自然のまま生息している場所はない。ふかや緑の王国内水路で、環境保全の象徴であるヘイケボタルの自然繁殖、自生化を目指すとともに、市民の憩いの場所、子供達への環境教育の場所を提供したいとの願いで活動が始まった。幼虫の飼育水槽、成虫の産卵・孵化小屋、幼虫放流する水路の整備等を行っている。毎年およそ8月～翌3月、幼虫を飼育水槽で、孵化後4～5令幼虫になるまで育てている。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① ホタル観賞会の開催 2020-6-12～13 を予定していたがコロナの影響で中止した。
- ② 幼虫の水槽飼育及び水路への放流 2020-3～2020-5 ボランティア延べ20人
- ③ 成虫を捕獲し、産卵、孵化後幼虫の水槽飼育へ。2020-6～8 ボランティア延べ25人
- ④ 飼育水槽の設備更新作業活動。2020-11～12 ボランティア延べ10人
助成による、4槽分の飼育水槽架台製作、組立て、据付、給排水設備の更新。
- ⑤ ホタル産卵・孵化小屋 設計・製作・据付作業活動。2020-12～2021-2 ボランティア延べ15人 助成による、新規製作。
- ⑥ 水路周辺の整備活動 2021-1-29 ボランティア延べ4人
水路周辺の落ち葉掻き。水路の滞留残滓清掃。

3. 活動の成果

- ① 飼育設備の更新。設備劣化が進み、補修更新を必要としていたが、今回、活動助成金をいただき 設備更新ができた。
- ② 観賞会は中止になったが、2020-6～7月に多数のホタルが水路で確認された。



4. 今後に残された課題

ホタルは、自然の中での生き物で、自然環境である気候、荒川の水質・水温、水路の環境などが成育に影響している。このままの状態ですぐに水路に棲み着き、自生化できるかは、今後、継続した確認作業が必要となる。このため、確認ができる十分な幼虫数を継続して飼育できるかが今後の課題である。